

『外来において求められるソーシャルワークとは』 -前方支援に特化した外来MSWを配置した3年間の実践より-

【目的】 前方支援（地域医療連携および外来における福祉相談等）に特化したMSWを配置した3年間の実践より外来において求められるソーシャルワークについて検証する

【期間】 研究許可日～2021 年 10 月 31 日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

2017 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日までに当院外来受診および救急搬送された患者さんで外来MSWによる福祉相談等を受けられた方

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：無い

情報：年齢・性別・病名・診療科・相談内容・家族構成・福祉制度利用等

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 地域医療連携室 ・ MSW

研究責任者 船曳 美穂